

令和元年 10 月 24 日

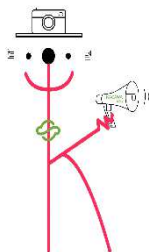
**地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)
うどん県で働こうプロジェクト「よりよい採用・就職のための勉強会」を開催します！**

うどん県で働こうプロジェクトでは地元就職を促進するため、学生の地域への関心を高め、地元企業の良さを知ってもらう取り組みと併せて、地元企業にも学生の考え方を十分理解したうえで採用活動に取り組んでもらえるよう情報提供を行っています。

このため、昨年度から学生・企業双方に採用・就職に関する大規模なアンケートを実施し、採用の実態や学生と企業の認識のずれを調査しています。アンケート結果は企業にもお返していますが、さらに企業と学生の相互理解を深め、よりよい採用につなげようと、人事担当者と本学経済学部の学生が「よりよい採用・就職」について考える勉強会を開催します。

なお、本年度のアンケート結果は別紙に添付しています。

- 1 日 時 令和元年 10 月 31 日 (木) 16:20~17:50 (受付開始 16 時)
- 2 場 所 香川大学幸町キャンパス (高松市幸町 1 番 1 号)
研究交流棟 6 階 地域連携・生涯学習センター 第 1 講義室
- 3 参加者 地元企業人事担当者 21 名、本学経済学部 3 年生 21 名、教員 2 名 計 44 名
(企業からの参加者数は増える可能性があります)
- 4 プログラム
16:20~16:40 「全社で取り組む採用活動で自社のファンを増やす」(仮題)
株スワニー採用担当 上田 芙美氏
16:40~17:00 グループワーク I 「組織の「雰囲気」について」
17:00~17:20 アンケート結果の分析について (報告)
経済学部 青木 宏之 教授 (人的資源管理論)
17:20~17:40 グループワーク II 「組織の「雰囲気」について」(パターンランゲージについて)
17:40~17:50 まとめと質疑
- 5 備考 今年度の勉強会では取材上特別の配慮をお願いする点を設けておりません。
昨年は企業の採用のデリケートな点に触れるかもしれない点を踏まえて、グループワークの際に取材をしないようお願いしていましたが、実際は問題ありませんでした。
そこで本年は普通に取材していただければ、と存じます。



問い合わせ先

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1

香川大学地域連携生涯・学習センター 三木

地域・産学官連携推進グループ 福井

TEL:087-832-1276,1370 FAX:087-832-1357

E-mail:chiikisen1@cc.kagawa-u.ac.jp

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

2019 年度企業・学生アンケート結果概要

香川大学地域連携・生涯学習センター

1 調査概要

- ① 時期 2019 年 8 月から 9 月
- ② 対象 香川大学から就職実績のある地元企業（支社を含む）150 社
- ③ 回収 82 社（回収率 55%）
- ④ 規模別
 - 100 人未満 15 社
 - 100 人以上 300 人未満 36 社
 - 300 人以上 1,000 人未満 17 社
 - 1,000 人以上 14 社

2 回答概要

B 人材確保の状況

質問 1 人手不足に対する認識（回答 78 社）

- 人手不足である、どちらかというと思う 48 社（62%）
- どちらともいえない 19 社（24%）
- そう思わない等 11 社（14%）

※業種別 建設業で人手不足感が強い。規模による差異は少ない。

C 大卒採用について

質問 3 大卒採用状況

大卒新規採用（人）

年度	2017.4	2018.4	2019.4	計
採用数計	710	647	595	1,952
採用あり一社平均	10.8	10.4	9	26.7
採用後の離職者数計	104	52	7	163

大卒中途採用（人）

年度	2017.4	2018.4	2019.4	計
採用数計	155	233	96	481
採用あり一社平均	3.4	4.6	2.5	8.3
採用後の離職者数計	25	30	2	56

（参考）2018 調査結果

大卒新規採用 2015 年度～2018 年度採用数 2,679 人 平均 32.7 人（4 年間）
（採用ありの企業平均）

大卒中途採用数 826 人 平均 11.5 人

質問4 大卒採用状況の捉え方

- ・新卒採用に満足（26社）と不満足（36社）どちらでもない（18社）
- ・エントリー数が確保できていない（52社）、学生との接触交流ができていない（44社）と考える企業が多い

質問5 採用戦略

- ・面接等における評価項目を意識化、明文化 50%
- ・求める人材像について経営幹部等とすり合わせを行っている 66%
- ・異色の人材も採用プロセスに乗せる 48%
- ・将来の人員計画のビジョンがある 54%

※中小企業で採用戦略をもつ率が低い。サービス業では異色の人材を許容。

質問6 就活生は何を重視しているか（企業は学生の思いを想像して記入）

順位	企業アンケート	学生アンケート※
1位	労働環境（労働時間・休日）	労働環境（労働時間休日）
2位	職場の雰囲気	安定性（将来性）
3位	給与	職場の雰囲気
4位	安定性（将来性）	給与
5位	仕事のやりがい	勤務地

※昨年度の学生アンケートでは、労働環境（労働時間・休日）、給与（福利厚生含む）、職場の雰囲気、仕事のやりがい、の順番だった。

※労働環境は自社の労働環境に自信をもつ企業が選択。

質問7 自社のアピールポイント

順位	2019	2018
1位	経営が安定	職場の雰囲気がいい
2位	職場の雰囲気がいい	香川県に本社がある
3位	香川県に本社がある	社員がやりがいを感じている
4位	社員がやりがいを感じている	経営が安定している（同率3位）
5位	技術力が高い	技術力が高い

※自社が優位性を持つと思われる項目を記入。職場の雰囲気がいい、やりがいを感じるは金融・保険、経営が、安定は建設業・製造業に多い。

質問 8 採用情報の発信方法

- ・ 1 位 合同・個別企業説明会
- ・ 2 位 就職情報サイトの利用
- ・ 3 位 大学キャリア支援センターへの求人
- ・ 4 位 自社サイト採用情報、大学で実施されるイベントへの参加（同率 4 位）

質問 9 採用選考にあたり重視する項目

順位	企業アンケート	学生アンケート※
1 位	学生時代に取り組んだこと	学生時代に取り組んだこと
2 位	適性検査の成績	エントリーシート
3 位	エントリーシート	出身大学名
4 位	専攻、専門知識	適性検査の成績
5 位	アルバイト経験の有無	学生のもつ資格

※エントリーシート、適性検査は文系採用で重視されている。専攻・専門知識は理系学生採用の企業で重視。学校名は企業規模が大きいほど気にしていない。

質問 10 重視する人物像

順位	企業アンケート	学生アンケート
1 位	熱意、活力	熱意、活力
2 位	親しみやすい人柄	行動力
3 位	行動力	論理的思考
4 位	地道で誠実な性格	親しみやすい人柄
5 位	傾聴する姿勢	第一印象

※親しみやすさは対面で仕事をする企業が重視。熱意・活力は金融保険で重視。企業規模による差異は少ない。

質問 11 インターンシップ

自社で公募・実施するインターンシップへの評価が高く（3.8）、大学で単位認定される 5 日以上のインターンシップへの評価が低い（3.1）。（5 段階評価）

質問 14 企業情報の開示

職場見学や従業員との面談（81%）、平均残業時間（71%）、初任配置先（61%）は開示しやすく、早期離職率（38%）、仕事のノルマ（31%）、一定年経過後の年収（9%）では、情報開示に消極的な傾向がみられた。昨年実施のアンケートと傾向は変わらない。

注 学生アンケートは経済学部 3 年生を対象に 2019 年 5 月・6 月に実施。回答者数 257 名。